

日本エアテック 社内報



2017年 夏号
発行：日本エアテック 管理企画室



キーマンズ・インタビュー

—— 当社の鍵を握るあの人に、聞いてみたいことがある。 ——

KEYMAN's INTERVIEW



第二工作部 工作員
北口 玲



第二工作部 工作員
廣岡 岳士



第二工作部 工作員
平野 裕也

今回のキーマンズインタビューでは、プレス機械を担当している第二工作部 工作員の方にお集まりいただきました。知っているようで知らないプレス加工のプロセスをはじめ、60tから100tプレスまである大きさそれぞれの難しさについてインタビュー。また、日々の業務内容で気を付けていることや今後の目標についてもお伺いしました。

北口 気をつけていることは、安全と品質管理。積み卸しなどの段取りで時間がかかってしまっているの、よりスムーズに作業ができるようにしていきたいです。

廣岡 機械には安全装置が付いているんですけど、100%ではないので安全装置を過信せずに気を付けるようにしています。たまに新しい品物を依頼される時もあるんですけど、最初から成功することはまずなく、設計の方と一緒に試行錯誤しながら図面通りに上手くいった時は嬉しいですし、やりがいを感じますね。現状、ほとんど小型プレス（機械プレス）しかやっていないので、200t、100tプレスでの作業も増やしていきたいなと思っています。

田中 やっぱ安全だと思ってこそ仕事ができるのだと思うので、基本中の基本なんですけど、「安全第一」に一番気を付けています。200tを担当させてもらっているの、品物が大きい分出来たものを見た時に、これだけ作ったんだという成果が目に見えて分かる、達成感があります。今後の目標については、せつかくベテランの皆さんが揃っているの、技術やお互いに考えていることをもっと共有できたらいいなと思っています。僕は100tばかりやっているの

長に教わってきたことの中でもよく言われていたことだったので、必ず動かす前に確認をして事故を起こさないように気を付けています。

田中 他の方々はどんなことに気を付けていますか？また、仕事のやりがいを感じる時、今後の目標についても教えてください。

平野 先ほどのお話にもありましたが、入力する数値を間違えると金型が破壊されて飛び散るなど事故にもつながるので、作業前には図面をよく確認して作業するようにしています。公共の電力や飛行機などの製品を作っているの、人の役にたっていると実感した時はやりがいを感じますね。日々、安全と品質を心がけて、向上心を持ってやっていきたいです。

北口 気をつけていることは、安全と品質管理。積み卸しなどの段取りで時間がかかってしまっているの、よりスムーズに作業ができるようにしていきたいです。

廣岡 機械には安全装置が付いているんですけど、100%ではないので安全装置を過信せずに気を付けるようにしています。たまに新しい品物を依頼される時もあるんですけど、最初から成功することはまずなく、設計の方と一緒に試行錯誤しながら図面通りに上手くいった時は嬉しいですし、やりがいを感じますね。現状、ほとんど小型プレス（機械プレス）しかやっていないので、200t、100tプレスでの作業も増やしていきたいなと思っています。

ですが、その前に班長代理もやっていたので、実際には7年くらい班長業務をやっています。教える立場になつてから、自分がまだ理解しきれていなかったところが分かったり、勉強になっていく部分もあります。また、相手も理解していきなそうなることを分かってあげられるという、同じ立場に立つて指導できているかなと思っています。班にはベテランさんが多いので、僕が教えるということもほとんどなかったのですが、最近新人も入ってきて、教える仕事も増えてきています。

田中 一人さんには特にどういったことを注意深く教えていますか？

北口 やっぱ第一は安全なので、「決まり事は絶対守ってもらう」ということ、会社全体で言われている「品質」ですね。見逃してしまいうような細かい部分も厳しくチェックして、品質の向上を呼びかけています。

廣岡 一人さんには特にどういったことを注意深く教えていますか？

田中 そうです。準備の時間は短いですけど、準備の方に時間がかかっています。品物が大きいのでその分金型も大きく、5tのフォークリフトを使って運びます。金型や品物を倉庫から持ってきたり、加工前のセッティングに時間がかかってしまいます。あとは、品物が大きいと作る数は少ないので失敗が許されないというのがあります。もし失敗した時は、修正できるものもありますが、だいたい破棄になってしまいうので、代償が大きいです。

北口 油圧プレスに比べて品物は小さいですが、生産量が増えます。準備・加工も含め作業時間が短く数が多いので、作業サイクルは速いです。全く同じ製品を作り続けるというの、新しいことに挑戦してみることが大事だなと思っています。一人班長とはそんな話をよくさせてもらっています。

廣岡 いろいろなことを提案してくださいます。一緒に現場を盛り上げられるような空気を作っていければいいなと思います。

田中 安全はもちろんなんですけど、それぞれどこに気を付けているか、どんなアプローチをしているかという「加工の目線を見るようにしています。道具の選定などアプローチの違いがケガにつながる、事前を防ぐように、横を通り過ぎながらそういうところを見ています。

です。なので、最初に細かいチェックを怠らないようにして、何個かに1つまたチェックをかけて、というように念入りな確認を心がけています。品物によっては1つずつチェックしながら進めるものもあります。今では、この製品でこの数ならこのくらいの時間で出来るかなという目安を立てて作業が出来るようになっていきます。

田中 油圧プレスと機械プレスで担当が決まっていますが、お互いの作業を見ていて思うことなどはありますか？

北口 それぞれメインで持っているものは決まっているんですけど、皆さん一通りは触ったことはあって、だいたいの仕組みや使い方は把握していると思います。誰かが休まないといけない時に代わりに入ることが出来るようになっていきます。

廣岡 相互にバックアップできるような体制にしています。うちの班は結構マルチで、今回プレス機械についてお話をさせていただいていますが、他にもいろんな仕事があります。材料の管理や機械加工される前の角材の切断、エンジンと燃料配管をうまくチューブパイプの加工などもうちの班で行っています。

です。なので、最初に細かいチェックを怠らないようにして、何個かに1つまたチェックをかけて、というように念入りな確認を心がけています。品物によっては1つずつチェックしながら進めるものもあります。今では、この製品でこの数ならこのくらいの時間で出来るかなという目安を立てて作業が出来るようになっていきます。

田中 油圧プレスと機械プレスで担当が決まっていますが、お互いの作業を見ていて思うことなどはありますか？

北口 それぞれメインで持っているものは決まっているんですけど、皆さん一通りは触ったことはあって、だいたいの仕組みや使い方は把握していると思います。誰かが休まないといけない時に代わりに入ることが出来るようになっていきます。

廣岡 相互にバックアップできるような体制にしています。うちの班は結構マルチで、今回プレス機械についてお話をさせていただいていますが、他にもいろんな仕事があります。材料の管理や機械加工される前の角材の切断、エンジンと燃料配管をうまくチューブパイプの加工などもうちの班で行っています。



日本エアテック社内報

JAT社内報
2017年夏号
【発行】日本エアテック管理企画室



第二工作部 工作員
田中 宏明



第二工作部 工作員 班長
一字 直人

今回のキーマンズインタビューでは、プレス機械を担当している第二工作部 工作員の方にお集まりいただきました。知っているようで知らないプレス加工のプロセスをはじめ、60tから100tプレスまである大きさそれぞれの難しさについてインタビュー。また、日々の業務内容で気を付けていることや今後の目標についてもお伺いしました。

田中 大きな機械を扱うお仕事は、やはり危険を伴うことも多いですか？

一字 大きいプレス機（油圧プレス）になると金型だけで約5tあり、上に吊ったりする作業もあるので油断していると事故につながりかねません。加工中のミスでは金型が割れて破片が飛んできたということがあるので、やはり危険ですね。田中さんの100tプレスは、幅が25メートル、奥行きが2メートルもあるのでその中に品物を置くためには、どうしても中に入る必要があり、それも気をつけなくてはいけません。

田中 やっぱ初めはとも怖かったですけど、でも、品物を置かないと作業が出来ないので、（笑）安全装置が付いているので、動かす時は中に人がいないかを確認してからボタンを押すようにしています。それは班

ですが、その前に班長代理もやっていたので、実際には7年くらい班長業務をやっています。教える立場になつてから、自分がまだ理解しきれていなかったところが分かったり、勉強になっていく部分もあります。また、相手も理解していきなそうなることを分かってあげられるという、同じ立場に立つて指導できているかなと思っています。班にはベテランさんが多いので、僕が教えるということもほとんどなかったのですが、最近新人も入ってきて、教える仕事も増えてきています。

田中 一人さんには特にどういったことを注意深く教えていますか？

北口 やっぱ第一は安全なので、「決まり事は絶対守ってもらう」ということ、会社全体で言われている「品質」ですね。見逃してしまいうような細かい部分も厳しくチェックして、品質の向上を呼びかけています。

廣岡 一人さんには特にどういったことを注意深く教えていますか？

田中 そうです。準備の時間は短いですけど、準備の方に時間がかかっています。品物が大きいのでその分金型も大きく、5tのフォークリフトを使って運びます。金型や品物を倉庫から持ってきたり、加工前のセッティングに時間がかかってしまいます。あとは、品物が大きいと作る数は少ないので失敗が許されないというのがあります。もし失敗した時は、修正できるものもありますが、だいたい破棄になってしまいうので、代償が大きいです。

北口 油圧プレスに比べて品物は小さいですが、生産量が増えます。準備・加工も含め作業時間が短く数が多いので、作業サイクルは速いです。全く同じ製品を作り続けるというの、新しいことに挑戦してみることが大事だなと思っています。一人班長とはそんな話をよくさせてもらっています。

廣岡 いろいろなことを提案してくださいます。一緒に現場を盛り上げられるような空気を作っていければいいなと思います。

です。なので、最初に細かいチェックを怠らないようにして、何個かに1つまたチェックをかけて、というように念入りな確認を心がけています。品物によっては1つずつチェックしながら進めるものもあります。今では、この製品でこの数ならこのくらいの時間で出来るかなという目安を立てて作業が出来るようになっていきます。

田中 油圧プレスと機械プレスで担当が決まっていますが、お互いの作業を見ていて思うことなどはありますか？

北口 それぞれメインで持っているものは決まっているんですけど、皆さん一通りは触ったことはあって、だいたいの仕組みや使い方は把握していると思います。誰かが休まないといけない時に代わりに入ることが出来るようになっていきます。

廣岡 相互にバックアップできるような体制にしています。うちの班は結構マルチで、今回プレス機械についてお話をさせていただいていますが、他にもいろんな仕事があります。材料の管理や機械加工される前の角材の切断、エンジンと燃料配管をうまくチューブパイプの加工などもうちの班で行っています。

日本エアテック 社内報



2017年 夏号
発行：日本エアテック 管理企画室

WHAT'S NEW 管理企画室 だより

「地方協力本部長認定協力事業所」に認定されました

この度、当社は自衛隊兵庫地方協力本部より「地方協力本部長認定協力事業所」に認定されました。

これは、平成27年度より始まった「予備自衛官等協力事業所表示制度」のひとつで、「多様な事態に際して活躍する予備自衛官等を雇用し、訓練に参加しやすい職場づくりに協力的な事業所を、社会的に評価・認定する制度」です。予備自衛官とは、普段は企業等に勤務しながら、年間で定められた日数の訓練に参加し、有事の際は招集され自衛官となり、国防や災害派遣などの任務に就かれる方のことです。

当社では現在4名の予備自衛官の方が在職されており、勤務の傍ら訓練にも参加されています。

大規模な災害等の場合は、予備自衛官の方が活躍されますが、これを機に日頃の防災意識を高めていきたいと思います。



TOPICS

大阪日帰り旅行レポート

6月3日(土)、総勢43名で大阪日帰り旅行に行ってきました。バスに乗り込み、まず向かったのは「NHK 大阪放送局」。当日は公開放送が行われておらず収録風景は見られませんが、実際に収録されているスタジオを見学し、とても貴重な体験ができました。天気予報やニュースキャスター、出演者になりきれぬコーナーもあり、子どもたちも興味津々。いつもテレビで



観ている子ども番組の画面の中に入れたのは、とても嬉しかったです。

難波に移動し、少し時間があつたのでお土産を買ったり、周辺をぶらぶらしたりと思いに過りました。大阪といえばということで昼食は「千房(ちぼう)」でお好み焼きを食べました。鉄板にはお好み焼き・ねぎ焼き・焼きそばが並び、とてもボリュームでした。

昼食後はもう少し大阪の街を楽しみ、皆さんお待ちかねの「なんばグランド花月」へ。『吉本新喜劇』が始まる前に、若手・ベテラン芸人による漫才や大道芸人のパフォーマンスもあり、大満足の内容でした。途中の観客いじりでは、なんと生産管理課の小久保さんのお子さんがステージに呼ばれ、大道芸人のお手伝いをするなど大盛り上がり！『吉本新喜劇』を生で観るのは初めての方も居ましたが、皆さん本当に楽しんでおられて、笑顔あふれる旅行になりました。

